



一人ひとりの夢・思いを大切に  
**しなぶくニュース**

編集人 しなぶくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐  
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1  
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail [info@shinafuku.org](mailto:info@shinafuku.org)



目次

- (一) らうんじ
- (二) ～ (五) 平成二十六年度各事業所事業報告
- (六) 寄付一覧・法人合計貸借対照表
- (七) 法人合計事業活動収支計算書
- (八) 豆知識・楽しいバザー五月祭り報告

障害福祉サービスかもめ園でのさおり織りの風景

さおり織りは、手織り機と手織り糸で、  
 「こころゆくまま、自由に織る感性の織物」と言われています。

**らうんじ**

本年度四月から、品川区からの派遣研修という形で心障会館館長として、皆様の仲間入りをさせていただいております。

入区以来、西大井福祉ホーム・品川児童学園・心障会館と障害者の皆様への処遇現場に従事させていただき、その後、生活保護行政に十一年弱従事していました。

そのような中、二十五年四月から二年間東京都へ派遣となり、三宅支庁総務課福祉係長として離島での単身赴任を経験しました。都市部とは異なる生活空間がそこにはありました。コンビニは無く、夜は街灯と点在する住宅の灯以外は、漆黒の闇が広がります。ネオンもありませんが、晴れていれば降り注ぎそうな星空が広がります。福祉サービスや医療は十分とはいえませんが、地域住民の繋がりは微笑ましく、すれ違えば自然と挨拶がかわされます。そんな毎日がかげがえのない、素晴らしい時間だったと思います。

都心に戻り、家族との時間を取り戻しましたが、何か大切な物を島に忘れてきたように感じています。根源的な生活の質の追求が、表面的な利便性に覆い隠されていらないでしょうか。

品川区立心身障害者福祉会館 館長 橘義之

# 平成二十六年 事業報告

## 法人

平成二十五年度までに本部施設の大規模改修、三十周年行事等が終了、平成二十六年度は必要な事業の改革を検討、利用者サービスのさらなる向上等を精力的に進めてきました。

利用者状況への事業の適応化を進めるため、心身障害者福祉会館の訓練センター事業の定員を見直しました。また利用者サービスの根幹をなす食事の質的向上を目指し、法人全体の給食業者を変更しました。また一方では法人の社会貢献活動（地域福祉向上に向けて施設機能の地域開放）の一環として、本部施設や大井在宅サービスセンターで認知症カフェを開催しました。また、当年度は研修委員会を設置、研修体系の見直しを行い、キャリアアップにより職員のモチベーションの向上を強力に推進いたしました。

## かえで荘

今年度は、施設見学会を開催し、新規利用者の施設生活への円滑な移行に向け、説明会を開催しました。サービスクラスでは、余暇支援と個別支援の充実を推進し、季節の移り変わりを体感すると共に新たな要望等を引き出し、実現化を推進しました。また、要介護利用者に対し安心した生活支援を確保する為に、介護職員が、たんの吸引従事者研修を受講し、知識と技術の習得を積極的に行いました。

また、他法人の施設へ研修に行き、介護士の資質の向上に努めました。感染症対策ではインフルエンザの発生や他の感染症の蔓延もなく経過し、多くの利用者に要介護度の改善がありました。



恒例になりました、田植えの風景です

## 中延特別養護老人ホーム

五名の新人職員を加え、育成を手がけながら事業運営を進めました。そのような中でも、入所者の心身状況に応じ、福祉サービスの質的向上に向け、短時間でも多職種連携を図るべく担当者会議をこまめに開催し、利用者本位のケアを進めて行く体制を構築してきました。

設備面では、ファンコイル（空調機）や中央監視盤の交換工事を実施し、入所者の快適な生活環境の整備にも努めています。



## 八潮南特別養護老人ホーム

今年度も利用者お一人おひとりの「生活する姿」を意識し、身の回りのことを自分で行う、他の方と協力する等、その方が力を発揮する機会を提供し、支援しました。これは開設時から継続して行って

## 毎日のお食事が美味しいのよ



きたケアであり、結果として要介護度が改善され、今年度も品川区の要介護度改善ケア奨励事業で評価されました。また品川区福祉保健従事者実践・研究発表会にて、「リリーダ」が中心となって「利用者の力を引き出す「待つケア」」について発表し、優秀賞を獲得しました。

## 八潮南グループホーム

入居者一人ひとりの生活する姿に添って、特に食事づくりや環境整備等で本人の力を発揮できる機会を作り支援しました。入居者の中には身体介護を必要とする方も増え、また信頼関係をつくる上で細

かいコミュニケーションや、個別の時間を多く要する方もいらつしやいます。職員もチームでの対応を重視してきました。また入居者十八名のうち二名が男性で、他の入居者との生活上の関わりや楽しみなどにおいて、本人の思いに沿って支援を充実させることも、継続した課題です。

### 八潮在宅サービスセンター 八潮在宅介護支援センター

八潮在宅サービスセンターはケアの質の向上をめざし、日々の活動の中に運動プログラムや脳トレ、工作等を取り入れ、心身機能の維持向上を図れる機会としました。また、外出行事として、小グループに分かれて東京タワーに出かけ、利用者から好評を得ています。

八潮在宅介護支援センターとの連携では、介護サービスへすぐに繋がらない方に対し

ても、導入として通所入浴や配食サービス等を行い、在宅生活の継続に寄与するように努めました。



### 大井在宅サービスセンター

区立デイサービスセンターでは、品川区初の認知症カフェを開催いたしました。名称も「笑う門」とし、笑顔で生活ができる地域づくりを目指しました。お客さまの必要に応え、センターは高い稼働率を維持することが出来ました。特に喜ばれたのは男性利用者趣味活動の充実で、マーじゃんは人気でした。

### 大井在宅介護支援センター

### 大井第二在宅介護支援センター

地域とのつながりを深めるため、「区民まつり」や地域初の山中小学校での盆踊り会へ参加しました。また、認知症カフェを二回開催し、地域住民・民生委員や福祉事業者の方々と交流の時を持つことが出来ました。認知症サポー



認知症カフェ「笑う門」で落語

ター養成事業では、金融機関への講義等を数度行い、認知症の方へ

の理解を多くの方々にも深めていただきました。

住み慣れた地域で安心していつまでも生活できるように、今年も様々な地域づくりの活動を続けて行きます。

### 中延在宅サービスセンター

計画的なプログラムだけではなく、利用者との日常会話の中からヒントを得て、より興味を持てる活動を提供できるようにしました。女性の方を中心に料理の腕前を披露してもらい、美味しい家庭料理に全員で舌鼓を打ちました。外出の機会も増やし、天気の良い日の散歩や、近所の一カ

フェーでのおしゃべり等、なじみの行動で楽しい時間を過ごして頂けたと思います。

### 中延在宅介護支援センター

地域の頼れる拠点となれるよう、積極的に地域住民と関わりを持つようになりました。近年、大規模災害に備え防災意識が高まっていることもあり、中延複合施設と近隣町会との合同防災訓練を通し、車いす操作や高齢者の誘導の仕方等、職員が講師となり指導を行いました。また、消防署の協力を得て、ご家族・地域の方を対象として救急救命講習を開催しました。事業所に備えているAEDの操作も学



池上本門寺 力道山銅像前

べたことで、安心・安全な町づくりにご貢献できないかと思っております。



恒例！大井埠頭公園でのお花見 ぽかぽかお天気

### かもめ園

希望の多い「外出」の回数増回の為、従来からの個別での外出に加え、理容、ランチ、ドライブ、買い物等目的別に小グループを編成、成果を上げました。日中活動では資源リサイクル、箸袋、煎餅づくりに加え、さおり織りを始めました。どんな作品になるのか、期待が高まります。ボランティアの方の細やかな支援を受け、取り組んでいる「調理」は、「作る」ことにも大きな楽しみが生まれて来てい

ます。退居者一名、新入居者一名、定員五十二名で推移致しました。

かもめ園身体障害部門では利用者の個別ニーズに対応した支援を心がけ、日中活動で個別時間を増やしたり、園外レクリエーションやお出かけ便等、個別対応の外出支援を強化し利用者には好評でした。

利用者の高齢化に伴い障害の重度化が進んでおり、長期入院や介助状況が変化する方が増えていきます。様々な課題解決に向け、サービス改善向上委員会でもテーマに掲げその対応を検討しています。

また、在宅の二名の障害者の方が通所されるようになり、生産活動に参加されています。

### 福祉工場しながわ

福祉工場しながわでは、従業員・利用者の方が、健康に留意し休まず出勤、通所され、稼働率は目標の九十%を達成できました。これもひとえに、皆さんが前向きに仕事が出来

たということだと実感しています。新しい仕事では、清掃が、公園の四箇所、マイスクール八潮等の増加で収支も増加しました。パンでは、保育園を二園、品川区役所内のふれあい売店で収入の増加でしたが、原材料費の高騰のため、少額の赤字。製陶では、品質向上などを図り、販売個数の増大により、増収の結果となりました。一泊旅行は千葉・木更津方面へ一泊旅行に行き、アウトレットやプール等思い思いに楽しんできました。

### さつき

さつきでは、昨年度まで第一期の東京都工賃向上計画に則り、工賃向上に努めてまいりました。また、新たに平成二十七年年度から三か年計画で、第二期の東京都工賃向上計画が策定され、引き続き工賃向上に向け、努力を重ねてまいります。喫茶『しなっぺ』では法人の社会貢献活動として「オレンジカフェ」を隔月の

土曜日に開催、地域住民の憩いの場、話ができる場等として、知っていたただけるようになりました。

売店『はなみずき』では口腔ケア商品『オーラルピース』の販売を行っています。喫茶並びに売店を引き続き宜しくお願い致します。

### サンかもめ

平成二十六年度は、《安心・安全・笑顔いっぱい》をテーマに個々に応じた自己実現や自立を目指し事業を展開しました。通常の活動の他に、日帰り旅行や個々のニーズに合わせた学習会を通して施設外の活動を行い、様々な体験から生活の幅を広げる機会を設けました。地域資源等を活用したりリサイクル活動を継続し、ボランティアの受け入れや広報紙を通して地域の理解を深められるように努めました。新規利用者二名を含む契約者数は四十一名、平均稼働率一〇六・三%で推移しました。

### 鮫洲なぎさの家

鮫洲なぎさの家では、利用者の皆さんがこの一年元気に過ごす事が出来ました。宅配業者からの食材の調理も安定して、利用者にも人気を得ています。行事として、「オーブンバスでの都内一周観光」もさわやかな風を受けながら、バスガイドさんともいろいろお話ができ、大変好評でした。地域交流の機会でもあるパーベキューは地域の方をお招きして楽しむ事が出来ました。また、年末の「お楽しみ活動・歌謡祭」は、利用者には好評でしたが、職員は知らない曲が多く、大変勉強になりました。

### 北品川つばさの家

平成二十六年度も引き続き、品川区の指定管理を受け共同生活援助（介護サービス包括型）事業を展開いたしました。都市部にある事業所の利便性を活かし、利用者の皆様が生生活の豊かさを享受できる様

支援して参りました。一方では、利用者の高齢化・機能の低下が顕著であり、入浴支援や通院付き添いなどの必要性が増している事が課題となっております。

今後、地域社会の一員として利用者の望む暮らしを支援して参ります。

### 心身障害者福祉会館

平成二十六年度も生活介護事業、自立訓練事業、障害者生活支援事業、地域活動支援事業の機能を軸に、地域住民の皆様・関連団体の皆様のご理解・ご支援を支えに運営を進めてきました。各事業の利用者の実情を見直すことで定員変更を行い、個々のニーズに応じたプログラムの充実に努めました。

利用者の希望が心障会館で完結することなく、地域生活の中でもさらに輝きが増すことを目指して、職員一同も笑顔絶やさず日々前進してまいります。

平成二十七年度の会館まつりは七月五日（日）です。ご来場お待ちしております。

### 八潮中央保育園

年間を通して九十六名の園児を受け入れ、一人ひとりの心身の健やかな成長を第一に保育を行いました。

散歩や園庭遊びを通して自然や虫達と触れ合い、季節の移り変わりを身体全体で感じられる活動を多く取り入れ、食育活動として野菜の栽培や鮮魚の解体見学を行い、



移動動物園で、動物たちと直接触れ合います

食物への感謝と食事の大切さを伝える機会を設けました。健康面では、十二月にインフルエンザが流行した為、ご家族の方々にも手洗いうがいの徹底など、ご協力を頂きました。

### 地域福祉課

平成二十六年度の地域福祉課は、地域福祉力向上を目指し、地域交流活動・福祉教育活動・広報活動の実施に努めてきました。



福祉教育の一環としては、法人内各部署の協力を得ながら、区立八潮学園二年生八十七名の施設見学等・体験学習等を積極的に受け入れました。また、法人の理念である「地域とともに」を実践すべく「五月祭り」「紅葉まつり」の開催や各種地域行事への参加、本部の「喫茶しなつぺ」に地域開放事業の一環として認知症カフェ「オレンジカフェしなふく」を実施しました。

平成26年度のご寄付

皆様から、ご寄付いただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

井上 洋子	鍵和田 せん	栗原 法子	鈴木 敏夫	田原 政義	根岸 順子	矢部 正美	渡辺 孝
遠藤 由江	勝野 巽	齊藤 裕子	須藤 英雄	長原 シゲヨ	日比 ミリ子	山口 睦子	
鍵和田 静男	川里 富美夫	島崎 妙子	田辺 幸一	新美 まり	水野谷 育男	山下 隆	

団体

イトヨーカドー大井町店	品川区重症心身障害児(者)を守る会	(社福)品川総合福祉センターかもめ園家族会(知的)	都営中延6丁目アパート自治会	八潮自治会連合会	八潮四〇号棟自治会
魚栄	品川区シルバー人材センター	(社福)春光福祉会	中六さくら会	八潮地域センター 所長 多田里子	八潮六〇号棟自治会
在原第四地区民生委員協議会	品川区知的障害者育成会	(社福)福栄会	西中三親友会	八潮地域センター フェスティバル実行委員	八潮わかば幼稚園 鈴木修代
大井第一地区民生委員協議会	品川区旗の台福祉会館と住民の会	昭和大学旗が岡盆踊り大会実行委員会	旗の台南町会	八潮地区防災協議会	ゆたか在宅福祉サービス
小和田屋商店	品川失語症友の会	青少年対策八潮地区委員会	八潮1号棟自治会	八潮2号棟自治会	
株品川都市整備公社	(社福)さくら会	地域生け花教室一同	八潮学園 校長 西島勇	八潮西自治会	
品川区視覚障害者福祉協議会	(社福)品川区社会福祉協議会	ティ・エス・スタッフ 代表取締役 入澤理沙	八潮五〇号棟自治会	八潮パトリア会	
品川区肢体不自由児者父母の会	(社福)品川総合福祉センターかもめ園家族会(身体)	東京都荏原歯科医師会	八潮五八・五九号棟自治会	八潮四号棟自治会	

貸借対照表

平成27年03月31日現在

社会福祉法人品川総合福祉センター 法人合計 (全体合計)				(単位:円)			
資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,414,792,606	1,407,518,312	7,274,293	流動負債	257,773,940	350,700,509	△92,926,569
現金預金	886,641,594	830,591,499	56,050,095	買掛金	4,301,157	3,833,411	467,746
売掛金	13,558,612	11,569,896	1,988,716	短期借入金	120,215,980	188,215,980	△68,000,000
商品・製品	4,733,971	4,076,975	656,996	未払金	110,272,276	120,089,265	△9,816,989
未収金	369,059,724	364,996,869	4,062,855	預り金	22,984,527	18,561,853	4,422,674
立替金	15,230,518	1,280,037	13,950,481	固定負債	311,515,848	312,384,592	△868,744
前払金	419,836	212,462	207,374	設備資金借入金	66,750,000	71,200,000	△4,450,000
短期貸付金	120,215,980	188,215,980	△68,000,000	退職給付引当金	153,025,848	143,924,592	9,101,256
仮払金	4,682,400	6,024,800	△1,342,200	施設整備資金借入金	91,740,000	97,260,000	△5,520,000
その他の流動資産	190,000	550,000	△360,000	負債の部合計	569,289,788	643,085,101	△73,795,313
固定資産	2,127,861,095	2,226,523,797	△98,662,701	純資産の部			
基本財産	1,282,417,600	1,366,028,583	△83,610,983	基本金	230,000,000	230,000,000	
建物	1,281,417,600	1,365,028,583	△83,610,983	基本金	230,000,000	230,000,000	
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000		国庫補助金特別積立金	844,037,490	910,556,353	△66,518,863
その他の固定資産	845,443,496	860,495,214	△15,051,718	国庫補助金特別積立金	844,037,490	910,556,353	△66,518,863
車輪運搬具	8,004,605	10,559,286	△2,554,681	その他の積立金	286,596,320	273,646,320	12,950,000
器具及び備品	154,561,153	186,729,416	△32,168,263	移行特別積立金	24,780,655	24,780,655	
投資有価証券	348,471,550	350,851,800	△2,380,250	人件費等積立金	22,000,000	22,000,000	
積立預金	181,380,340	168,430,340	12,950,000	修繕積立金	18,000,000	21,000,000	△3,000,000
移行特別積立預金	24,780,655	24,780,655		備品等購入積立金	18,520,000	19,520,000	△1,000,000
人件費等積立預金	22,000,000	22,000,000		工賃変動積立金	600,000	600,000	
修繕積立預金	18,000,000	21,000,000	△3,000,000	設備等整備積立金	6,500,000	6,500,000	
備品等購入積立預金	18,520,000	19,520,000	△1,000,000	減価償却積立金	49,248,225	31,368,225	17,880,000
工賃変動積立預金	600,000	600,000		寄附金積立金	27,456,000	28,386,000	△930,000
設備等整備積立預金	6,500,000	6,500,000		都施設整備費積立金	14,275,460	14,275,460	
減価償却積立預金	49,248,225	31,368,225	17,880,000	区施設整備費積立金	11,439,980	11,439,980	
寄附金積立預金	27,456,000	28,386,000	△930,000	施設建設・運営等積立金	83,776,000	83,776,000	
都施設整備費積立預金	14,275,460	14,275,460		職員研修基金積立金	10,000,000	10,000,000	
東社協従事者共済預り金	153,025,848	143,924,592	9,101,256	次期繰越収支差額	1,612,670,108	1,576,754,355	35,915,753
				前期繰越活動収支差額	1,576,754,355	1,479,617,909	97,136,426
				当期活動収支差額	35,915,768	97,136,426	△61,220,658
				純資産の部合計	2,973,303,913	2,960,957,008	△12,653,095
資産の部合計	3,542,653,701	3,634,042,109	△91,448,408	負債及び純資産の部合計	3,542,593,701	3,634,042,109	△91,448,408

# 事業活動収支計算書

(自) 平成 26 年 04 月 01 日 (至) 平成 27 年 03 月 31 日

社会福祉法人品川総合福祉センター  
法人合計 (全体合計)

(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業活動収支の部	収入			
	就労支援事業収入	188,799,564	193,672,096	△4,872,532
	経理区分間繰入金収入	247,440	247,440	
	就労支援事業活動収入計	189,047,004	193,919,536	△4,872,532
	支出			
就労支援事業活動支出	184,654,874	190,593,699	△5,938,825	
就労支援事業活動支出計	184,654,874	190,593,699	△5,938,825	
就労支援事業活動収支差額	4,392,130	3,325,837	1,066,293	
福祉事業活動収支の部	収入			
	自立支援費等収入	745,088,791	742,704,215	2,384,576
	介護保険収入	1,508,300,304	1,463,869,485	44,430,819
	利用料収入	3,456,896	3,617,227	△160,331
	運営費収入	99,670,920	92,641,070	7,029,850
	経常経費補助金収入	628,037,900	627,207,565	830,335
	寄附金収入	1,980,850	9,618,049	△7,637,199
	雑収入	74,443,557	87,284,902	△12,841,345
	引当金戻入	8,082,274	3,554,110	4,528,164
	国庫補助金等特別積立金取崩額	66,668,623	66,686,274	△17,651
	福祉事業活動収入計	3,135,730,115	3,097,182,897	38,547,218
	支出			
	人件費支出	1,889,458,763	1,850,038,428	39,420,335
	事務費支出	644,412,314	632,116,727	12,295,587
事業費支出	392,940,367	391,153,944	1,786,423	
減価償却費	132,815,802	127,944,530	4,871,272	
徴収不能額	561,374	103,310	458,064	
引当金繰入	17,328,430	16,884,806	443,624	
利用者負担軽減額	499,417	378,405	121,012	
福祉事業活動支出	3,078,016,467	3,018,620,150	59,396,317	
福祉事業活動収支差額	57,713,648	78,562,747	△20,849,099	
事業活動外収支の部	収入			
	受取利息配当金収入	1,198,046	1,158,202	39,844
	経理区分間繰入金収入	12,712,560	10,912,560	1,800,000
	事業活動外収入計	13,910,606	12,070,762	1,839,844
	支出			
	経理区分間繰入金支出	12,960,000	11,160,000	1,800,000
	投資有価証券売却損	79,500		79,500
資産評価損	1,037,245		1,037,245	
事業活動外支出計	14,076,745	11,160,000	2,916,745	
事業活動外収支差額	△166,139	910,762	△1,076,901	
経常収支差額	61,939,639	82,799,346	△20,859,707	
特別収支の部	収入			
	施設整備等補助金収入	149,760	3,650,000	△3,500,240
	その他の特別収入	197,018,700	2	197,018,698
	特別収入計	197,168,460	3,650,002	193,518,458
	支出			
	固定資産売却損及び処分損	2,385,825	9,436,543	△7,050,718
	国庫補助金等特別積立金積立額	149,760	4,275,000	△4,125,240
	その他の特別損失	207,706,746	288,346	207,418,400
	特別支出計	210,242,331	13,999,889	196,242,442
	特別収支差額	△13,073,871	△10,349,887	△2,723,984
当期活動収支差額	48,865,768	72,449,459	△23,583,691	
当期利益	48,865,768	72,449,459	△23,583,691	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	1,576,754,335	1,479,617,909	97,136,426
	当期末繰越活動収支差額	1,625,620,103	1,552,067,368	73,552,735
	その他の積立金取崩額	9,210,000	26,846,967	△17,636,967
	その他の積立金積立額	22,160,000	2,160,000	20,000,000
次期繰越活動収支差額	1,612,670,103	1,576,754,335	35,915,768	

# 年に一度きり

★七夕の晴天率

七夕といえは、天の川が見えるかどうか、気になるのは夜の天気です。

七月七日の過去十年間の天気をみてみましょう。

この時期は、ちょうど梅雨前線が本州（ほんしゅう）のあたりに停滞（ていたい）します。

晴れの天気割合は、札幌（さっぽろ）と那覇（なは）で二年に一回、仙



## 豆知識

台や福岡で三年に一回です。東京や大阪になる、十

年のうち一回か二回しか、七夕（たなばた）の星空

を楽しめません。

本州付近で、織女（しよくじよ）星と牽牛（けんぎゆう）星の

年に一度のデートを見られるのは、幸運な年といえるでしょう。

でも、昔の人たちと同じよみ、旧暦（きゅうれき）の七夕なら、星空の確率はもっと高くなります。

新暦（しんれき）でいうと八月二十六日ころで、この時期なら、十年のうち五回から七回は星空を見られるようになります。

七月七日がだめだったら、旧暦の七夕で試してみたいかがでしょうか？



## 第31回 楽しいバザー 五月祭り

第三十一回楽しいバザー五月まつりを五月二十四日（日）に開催いたしました。

前日より雨模様心配されましたが、八潮地域の皆様のパワーとしなふく職員の心意気で、雨雲も早々に立ち去りました。オープニングでは、東京ウインドプラスオーケストラの皆様によるファンファーレがたからかに奏でられ、その後ライオンキングなどの曲をご披露いただきました。



東京ウインドプラスオーケストラの皆様

復興支援コーナーでは、「豚汁」を販売しました。売上金は東日本大震災の義援金として被災地にお送りいたします。

祭り開催にあたり、関係各位の皆様には多大なご協力・ご支援を賜りました。地域の皆様とともに楽しく過ごすことができたことを心より感謝いたします。

バザー収益金 九十一万千十一円

あ・と・が・き

笹の葉が、軽トラックに揺られて目の前を通り過ぎた。「すみません！この笹、どこに行くんですか？」「私にもただけませんか？」何という突拍子もない行動でしょう。あれから、早五年。「しなふく」では、わさわさと揺れる特大の笹で七夕を迎えています。品川清掃工場の軽トラックが夢と愛を乗せてやってくる！。今年もありがとうございます。（宮岸）